

研修の振り返りと全体総括

memo

研修の振り返りと全体総括

15:40－16:10

<目的・ねらい>

- ① センター長としての役割を再確認し、
- ② 研修で学んだことをどのように実践に活かすか
検討する。

1-1: センター長としての役割を再確認

▼地域包括支援センター長は、行政機関を担う一員として、超高齢社会と財源も含めた行政の方向性について、全体を見渡す力を持つことが大切です。

※「地域法包括支援センター業務マニュアル」P16～17 平成22年3月
(財)長寿社会開発センター)

本研修の実施



1-2: センター長としての役割を再確認

- ①地域包括支援センターの究極の目的は、「地域住民が、住み慣れた地域で安心して尊厳あるその人らしい生活を続けられるように支援」することです。（「地域包括ケアの実現」）
⇒このためには、「自立支援型のケアマネジメント」が必要です。
- ②地域包括支援センターの究極の目的（「地域包括ケアの実現」）を達成するため、センター長のマネジメント能力が求められます。
⇒センター長は、3つのマネジメント（①組織内 ②地域 ③政策）を通じて、地域の課題に対する共通認識を得て、目的を共有化していくことが大切です。
- ③マネジメントの実践領域として、「地域ケア会議」を活用します。
⇒このことが、「介護保険法第2条第2項と第4条」を具現化し、新設された「介護保険法第115条の46第5項」につながります。

ワークの説明

2-1: 地元に戻って実践すること！

（研修で学んだことをどのように実践に活かしていくか。）

- ①センター長として、地域包括支援センターのためにプレゼントできること
- ②センター長として、地域住民のためにプレゼントできること

2-2: 地元に戻って実践すること！

(研修で学んだことをどのように実践に活かしていくか。)

▼①~②について、

⇒まず、一人で考えてみてください。

(3分)

⇒グループで意見を出し合い、整理してください。

(9分)

⇒●「これだけは、全員実践する」をひとつ決めてください。(3分)

皆さんに期待しています！

▼まとめ

・各担当者から、皆さんへのメッセージなど